

Saori Ikeuchi TIMES / no.028 / 2021.5.9 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
 日本共産党
 衆院東京12区
 池内さおり事務所
 〒115-0042
 東京都北区志茂
 2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

市民と野党で政治を変える！「みんなで選挙@12区」共同宣伝



大野共同代表



立憲民主・うすい区議



新社会・福田区議



共産・そね都議



池内前衆院議員

市民団体の「みんなで選挙@12区」は4月24日、北区赤羽で、市民と野党の共同街宣を開催しました。

共同代表の大野裕之東洋大教授に続き、新社会党・福田光一北区議、立憲民主党・うすい愛子北区議、日本共産党・そねはじめ都議が訴え。「市民連合あだち」、「チェンジ国政！板橋の会」の代表も駆けつけ、共闘の前進を熱く呼びかけました。池内さおり

前衆院議員は、「菅政権はコロナ対策の失敗に反省がない。政府は医療崩壊を理由に大規模検査を抑えてきた。消費税を財源にさらに病床を削減しようとしている。大規模検査、休業補償、医療者支援を。みんなの声が届く政治を実現しよう」と訴えました。

共同の力で選挙をたたかい、政権交代に向かううえで節目の取り組みとなりました。



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

「ほら来た。学徒動員だ。」
 Twitter で見かけた声。子どもたちを五輪・パラ観戦に「動員」する「学校連携観戦」が強行されようとしていることへの反応です。全国約一二八万人、都内で約八万人！感染対策はない。子どもたちへはワクチンさえ未だ届かず見通しもない。電車やバスで集団移動をさせるといふ。

大阪の爆発的感染拡大に心が痛みます。医療崩壊が起こっている。大阪の吉村知事（日本維新の会）がPCR検査に極めて消極的で攻撃してきました。責任は重大！東京で全国で大規模検査へ転換が必要です。

大阪を救おうと必死の思いで看護師派遣に取り組んでいる日本看護協会に、東京五輪・パラリンピック組織委員会が看護師を五〇〇人も派遣せよと要請していたことが明らかに。送るべきは先は五輪ではなく大阪です。

矛盾ばかりの政治を、市民と野党で変えましょう！小池都知事は、緊急事態宣言につき「東京へ来ないで」と言う。しかし海外アスリートについては「東京へ来て」と言う。日本国民を危険にさらしている権利は誰にもない。オリパラ中止の決断を！コロナ対策に全力を！

Column vol.28
都議選！都政を変えて、
コロナ対策に全力あげる東京を！

色あざやかな社会へ

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり トークタイム

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、
当面の実施を見合わせます。



「命まもる政治を！」各地で訴え

池内さんは4月、12区各地の街頭・駅頭やホールを駆けめぐり、「命を守る都政、国政をつくろう！今こそ政権交代を果たそう！」と訴えました。

10日の足立区演説会には午前午後あわせて500人が参加し、「元気と勇気のわく演説会でした」など感想が寄せられました。11日赤羽駅での駅前トークには、距離をとりながら300人の聴衆が集まり、賑やかな街頭宣伝に。

14日には西巢鴨の街頭で宣伝。「今80歳だけど20歳のときからずっと共産党に投票してるよ」「私は外国人だから投票は出来ないけど、選挙権がある娘は池内さんの大ファン」など沢山の嬉しい出会いがあり、会話が弾みました。

西巢鴨交差点で訴える池内さん（中央）、
それと都議（中央右）、
せいの北
区議（中央左）と後援会員の皆さん



秋田・香川 オンライントークで 青年とジェンダー平等語り合う

池内さんは、4月17日に秋田青年後援会のつどい、18日に香川民青のつどいにそれぞれオンライン参加。ジェンダー平等をテーマに若い世代の参加者たちと双方向で語り合い、活発な意見交換となりました。

参加者からは、「幼少期の話にもものすごく共感し、自分の父母の事を重ねて苦しくなった。そこからどう考えどう生きていくのかという池内さんのお話がすごく良かった」（秋田）、「より良い社会をめざすうえで『楽ではないが、多様な性の感じ方を受け入れていくために不可欠な

議論』を日常でも実践できる人間関係をつくっていきたい」（香川）など、自分や社会と向き合う感想が寄せられました。

参加者とオンラインで語り合う池内さん



オンライン東京演説会

4月21日、志位和夫党委員長を弁士に、日本共産党オンライン東京演説会が開催されました。

池内さんは、党都ジェンダー平等委員会が取り組んだ痴漢被害アンケートの結果をふまえ、

「日々繰り返される女性に対する暴力を終わらせるのは政治の責任。誰にとっても安全な東京、ジェンダー平等の東京へ！」と訴えました。



訴える池内さん

ネットラジオ、好評配信中！

朝岡晶子さんとおくる「池内さおりラジオ コミュニストはフェミニスト」。

4月10日、第4回のテーマは「痴漢被害アンケート～誰にとっても安全な社会へ」。党都ジェンダー平等委員会メンバーの米倉春奈都議、椎野大輔さんをゲストに迎え、アンケート結果から見えてくること、男性としての受けとめ、寄せられた声を届けた都議会での議論などが縦横に語られました。

第5回、24日のテーマは「理不尽な校則」。都議会、国会でこの問題を取り上げてきた吉良よし子参院議員、池川友一都議をゲストに、改善に向けた生徒自身の声や現場の取り組み、都議会・国会での議論、子どもの人権の観点からこの問題を捉えることの重要性などが語り合われました。

配信後、「痴漢で『人生が壊される』『人生が破壊される』。ここまで深刻な問題なのだ初めて気付きました」「子どもの声を聞いて、真摯に取り上げて大人がいるって希望やな。子どもに聞いてほしいラジオですね」などの感想が寄せられています。

過去の配信は、いつでも再生可能。次回配信は5月8日午後9時から。ぜひお聴きください。



収録中の（左から）池内さん、朝岡さん、椎野さん、米倉さん

こちらのページからお聴きいただけます▼

